

參考資料

農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策）のうち 農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業 ～地域で支え合うむらづくりの推進～

令和8年度予算額

7,045百万円（前年度 7,389百万円）の内数
〔令和7年度補正予算額 2,925百万円の内数〕

<対策のポイント>

中山間地域等において、複数集落の機能を補完する**農村RMO**※の形成を推進するため、むらづくり協議会等が行う**実証事業**のほか、協議会の伴走者となる**中間支援組織の育成**や**全国プラットフォームの運営**等を支援します。

※ 農村型地域運営組織（農村RMO：Region Management Organization）
複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織

<事業目標>

- 農用地保全に取り組む地域運営組織（100地区〔令和8年度まで〕）
- 中山間地域で9戸以下の集落を有する市町村のうち、農村RMOが活動している市町村の割合（25%〔令和11年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 農村RMOモデル形成支援

① 活動着手支援型

農村RMOの裾野を広げるため、遊休農地活用の開始や高齢者支援への着手など、**農村RMOの形成につなげる取組**を支援します。

【事業期間：1年、交付率：定額（上限200万円）】

② 一般型

むらづくり協議会等による地域の話合いを通じた農用地保全、地域資源活用、生活支援に係る**将来ビジョン策定**、ビジョンに基づく**調査、計画作成、実証事業**等を支援します。

【事業期間：上限3年、交付率：定額（上限1,500万円（年標準額500万円））】

※地域計画と連携した農用地保全の取組を行う場合は年標準額600万円

※新規地区の採択は、令和8年度まで

③ 地域連携型

農村RMOの活動の定着に向けた**活動継続計画の策定**や、**地方公共団体等と連携した実証事業等**を支援します。

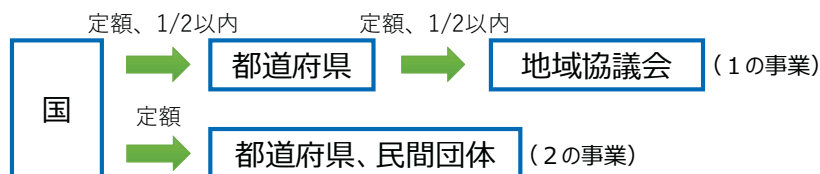
【事業期間：上限4年、交付率：1/2以内（上限1,500万円（年標準額375万円））】

2. 農村RMO形成伴走支援

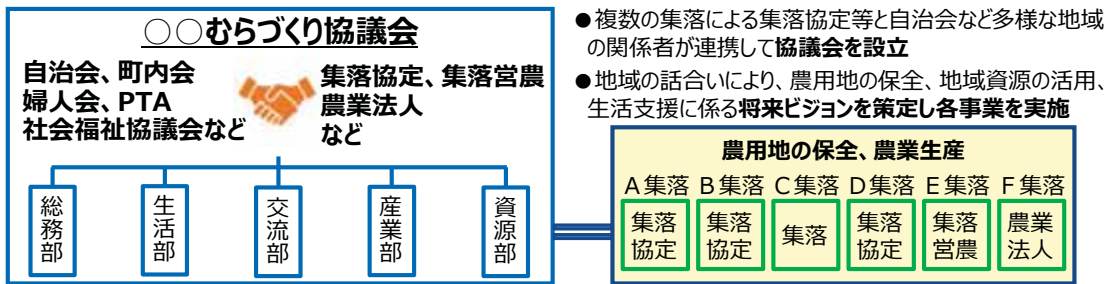
農村RMO形成を効率的に進めるため、**中間支援組織の育成**等を通じた都道府県単位における**伴走支援体制の構築**や、各地域の取組に関する情報・知見の蓄積・共有、研修等を行う**全国プラットフォームの運営**を支援します。

※対象地域：8法指定地域等

<事業の流れ>



農村型地域運営組織（農村RMO）のイメージ



農村型地域運営組織（農村RMO）形成推進事業

農村RMOモデル形成支援「活動着手支援型」



農村RMOモデル形成支援「一般型」「地域連携型」



農村RMO形成伴走支援



【お問い合わせ先】 農村振興局地域振興課 (03-3501-8359) 41

中国四国（計28地区）

- 島根県（5地区）
54 今福まちづくり委員会（浜田市）
55 池田集落協定運営委員会（大田市）
56 躍動と安らぎの里づくり鍋山（雲南市）
57 三原農村RMO準備協議会（川本町）
58 口羽地区振興協議会（邑南町）
岡山県（4地区）
59 上加茂地区住民自治協議会（津山市）
60 新山地区自治会（笠岡市）
61 みまさか農村RMO推進協議会（美作市）
62 ミツ山レモン普及協議会（浅口市）
広島県（5地区）
63 田幸地区町内会連合会（三次市）
64 布野町まちづくり連合会（三次市）
65 庄原市山内集落地域振興協議会（庄原市）
66 高地域振興協議会（庄原市）
67 安田未来づくり協議会（神石高原町）
山口県（3地区）
68 祖生ふるさとづくり推進協議会（岩国市）
69 真木洪水地区まちづくり協議会（長門市）
70 日積地域活性化協議会（柳井市）
徳島県（6地区）
71 加茂谷RMO推進協議会（阿南市）
72 椿町農村RMO運営組織協議会（阿南市）
73 奥阿波RMO推進協議会（阿波市）
74 Kozato Labo（美馬市）
75 赤松地区農村RMO推進協議会（美波町）
76 端山地域RMO推進協議会（つるぎ町）
愛媛県（3地区）
77 横林カスタマイズ（西予市）
78 奥松瀬川地区農村活性化協議会（東温市）
79 石畳地域協議会（内子町）
高知県（2地区）
80 北川村地域活性化協議会（北川村）
81 集客活動センター「おちめん」推進委員会（梺原町）

九州（計14地区）

- 福岡県（1地区）
82 採銅所地域コミュニティ協議会（香春町）
長崎県（2地区）
83 田代地域むらづくり協議会（松浦市）
84 岐宿まちづくり協議会山内支部（五島市）
熊本県（5地区）
85 東陽農村RMO協議会（八代市）
86 菊鹿さきもり隊（山鹿市）
87 宮地岳みらい里山協議会（天草市）
88 山江村未来づくり協議会（山江村）
89 くまむら地域再生協議会（球磨村）
大分県（1地区）
90 山浦地域活性化協議会（杵築市）
宮崎県（3地区）
91 酒谷地区むらおこし推進協議会（日南市）
92 下塚田ふるさと応援隊（日南市）
93 すきRMO協議会（小林市）
鹿児島県（2地区）
94 郡山農村RMO（鹿児島市）
95 北山校区コミュニティ協議会（始良市）

近畿（計12地区）

- 滋賀県（3地区）
42 仰木地域共生協議会（大津市）
43 東草野農業振興会（米原市）
44 桜谷地域農村RMO推進協議会（日野町）
京都府（3地区）
45 中六人部地区農村RMO事業推進連絡会議（福知山市）
46 摩気地域振興協議会（南丹市）
47 伊根町農村RMO推進協議会（伊根町）
兵庫県（1地区）
48 豊かな郷づくり協議会（赤穂市）
奈良県（5地区）
49 福の住む里協議会（天理市）
50 東山地区里山再生協議会（山添村）
51 やんばいのお協議会（山添村）
52 さくらファーム・ひがしとよ（山添村）
53 明日香むらおこし協議会（明日香村）

北陸（計15地区）

- 新潟県（4地区）
25 別保みんなのふるさとづくり推進協議会（柏崎市）
26 高柳RMO検討委員会（柏崎市）
27 清里区農村RMO協議会（上越市）
（（一社）榊地農業振興会より名称変更）
28 夢ビレッジ胎内290（胎内市）
富山県（8地区）
29 黒瀬谷KIRARI活性化協議会（富山市）
30 速川地区まちづくり協議会（氷見市）
31 十二町持続可能な地域づくり推進協議会（氷見市）
32 久目地区地域づくり協議会（氷見市）
33 東山地区まちづくり協議会（黒部市）
34 大鋸屋地域づくり協議会（南砺市）
35 北野地域づくり協議会（南砺市）
36 東谷活性化協議会（立山町）
石川県（2地区）
37 しらみね未来づくり会議（白山市）
38 白山市木滑地区協議会（白山市）
福井県（1地区）
39 MISAki未来（越前町）

東北（計16地区）

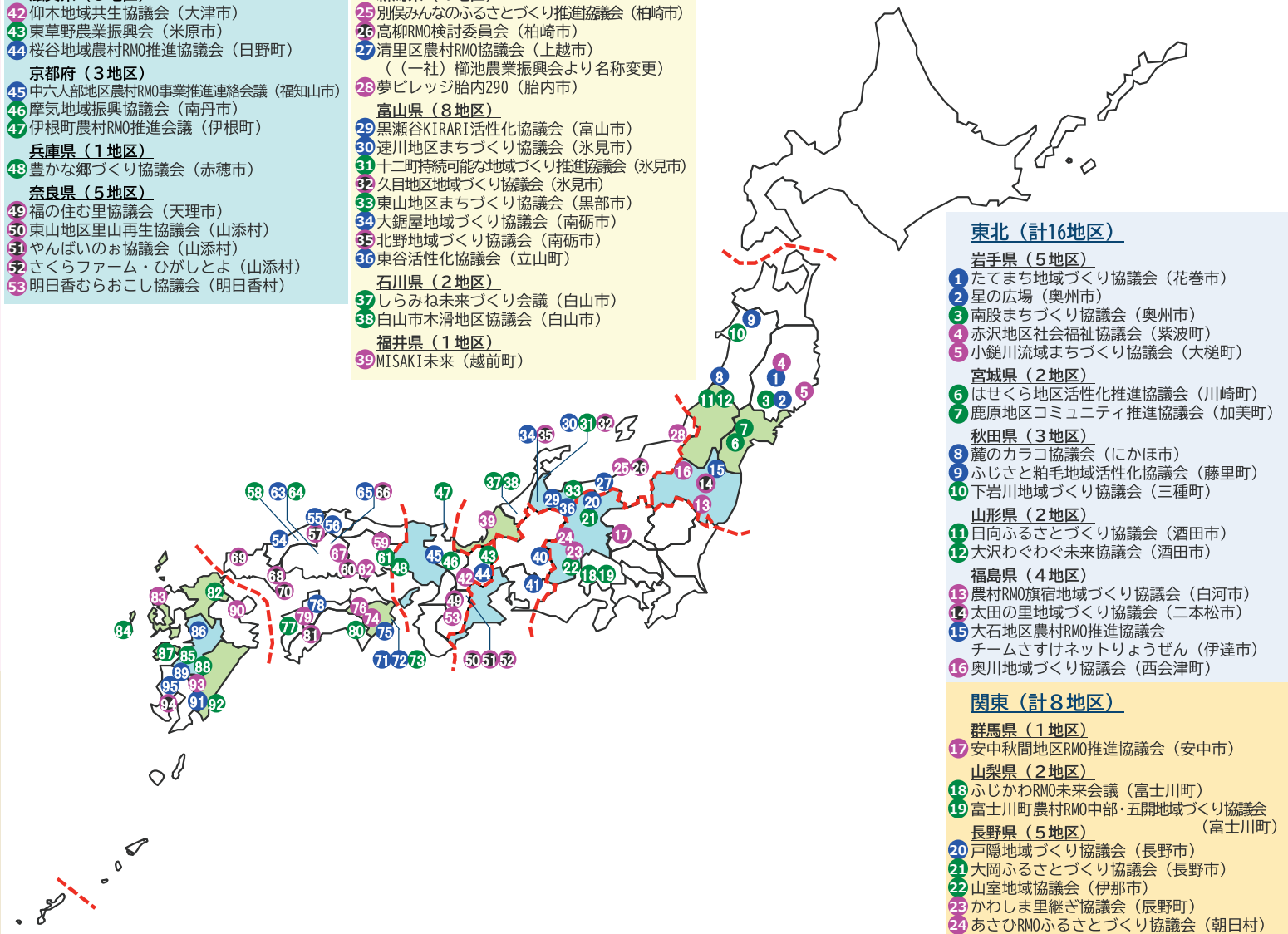
- 岩手県（5地区）
1 たてまち地域づくり協議会（花巻市）
2 星の広場（奥州市）
3 南股まちづくり協議会（奥州市）
4 赤沢地区社会福祉協議会（紫波町）
5 小鉾川流域まちづくり協議会（大槌町）
宮城県（2地区）
6 はせくら地区活性化推進協議会（川崎町）
7 鹿原地区コミュニティ推進協議会（加美町）
秋田県（3地区）
8 麓のカラコ協議会（にかほ市）
9 ふじさと粕毛地域活性化協議会（藤里町）
10 下岩川地域づくり協議会（三種町）
山形県（2地区）
11 日向ふるさとづくり協議会（酒田市）
12 大沢わぐわぐ未来協議会（酒田市）
福島県（4地区）
13 農村RMO旗宿地域づくり協議会（白河市）
14 太田の里地域づくり協議会（二本松市）
15 大石地区農村RMO推進協議会
チームさすけネットりょうぜん（伊達市）
16 奥川地域づくり協議会（西会津町）

関東（計8地区）

- 群馬県（1地区）
17 安中秋間地区RMO推進協議会（安中市）
山梨県（2地区）
18 ふじかわRMO未来会議（富士川町）
19 富士川町農村RMO中部・五開地域づくり協議会（富士川町）
長野県（5地区）
20 戸隠地域づくり協議会（長野市）
21 大岡ふるさとづくり協議会（長野市）
22 山室地域協議会（伊那市）
23 かわしま里継ぎ協議会（辰野町）
24 あさひRMOふるさとづくり協議会（朝日村）

東海（計2地区）

- 岐阜県（1地区）
40 加子母むらづくり協議会（中津川市）
愛知県（1地区）
41 しきしまの家運営協議会（豊田市）



● : モデル形成支援地区(R5着手) 28地区
● : モデル形成支援地区(R6着手) 30地区
● : モデル形成支援地区(R7着手) 37地区
● : うち活動着手支援型 16地区
95地区
〇 : 都道府県伴走支援(R5着手) 6箇所
〇 : 都道府県伴走支援(R6着手) 7箇所
〇 : 都道府県伴走支援(R7着手) 0箇所
13箇所

集落機能を補完する農村型地域運営組織（農村RMO）の形成推進

- 中山間地域等では、高齢化・人口減少の進行により、農業生産活動のみならず、地域資源（農地・景観等）の保全や生活環境（買物・子育て等）の維持など、集落維持に必要な取組を行う機能が弱体化。
- このため、複数の集落による集落協定や農業法人など農業者を母体とした組織と、自治会や社会福祉法人など地域の関係者などが連携し、農村型地域運営組織（農村RMO）を形成し、農用地保全、地域資源活用、生活支援などに取り組み、地域コミュニティ機能を維持・強化することが必要。
- 一方、取組には専門的な知識・技術やノウハウが必要であるが、個々の地域で確保することは困難であること等が課題。

農村RMO形成に関する推進体制



※農村型地域運営組織

（農村RMO : Region Management Organization）

複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。
 なお、農村型地域運営組織（農村RMO）は、地域運営組織（RMO）の一形態と整理している。

よしえんぎむら 吉縁起村協議会 （岡山県真庭市）



【農用地を維持】

紅はるかを栽培
 干し芋やチップスを試作

【生活環境を維持】

立寄処が話し合いや交流の場
 農産物や手芸品を販売

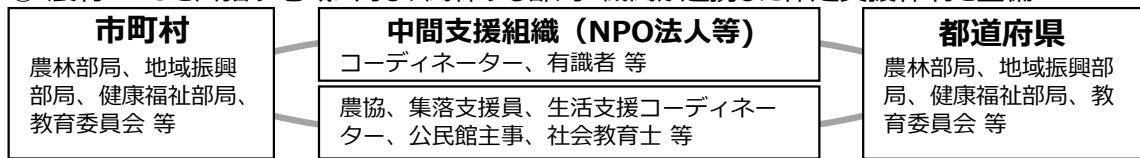
小学校や郵便局がなくなり地域に活気が消え、高齢化により自治活動もマンネリ化。危機感をもった兼業農家や元校長など地元有志が何かできないか話し合い「まずはやってみる」を合言葉に活動開始。

活動内容のチラシを全世帯に配布したり、市や県の補助金を活用して観光スポットに看板を設置するなど手探りで取組を進め、令和4年度からは国の補助事業（農村RMOモデル形成支援）を活用して将来ビジョンを策定する等、体制づくりを推進。

吉縁起村協議会「吉地区将来ビジョン」ホームページほかより

都道府県レベルの支援チーム

- 農村RMOを目指す地域に対し、関係する部局・機関が連携した伴走支援体制を整備



全国レベルの支援

- 農村RMOの形成推進に関する知見や情報を集約し、情報発信や共有・交流を行う場を形成

